

◎第4回理事会(41.9.30)出席者:篠原会長,水野,酒井,最上の各副会長,羽田専務理事,青木,飯吉,内林,神田,米谷,堺,佐藤,多谷,成岡,藤田,耳野,森垣,吉田,渡辺の各理事,井関監事。議事録署名理事の決定:篠原会長,羽田専務理事,耳野理事。A.報告事項:つぎの各項につき羽田専務理事より報告があり了承された;1)会計報告。2)刊行物頒布報告。3)各種委員会報告。4)会務(総務・企画・経理)担当理事会報告。B.協議事項:1)総会および年次学術講演会の開催地について。2)総会および学術講演会へ本部からの交付金について。3)特別会員の勧誘について。4)理事会の運営について。5)その他。6)委員の委嘱について。

① 表彰委員会

委員 本間 仁 東京大学
村上 永一 建設省土木研究所

② 論文賞選考委員会

委員長 本間 仁 東京大学
副委員長 村上 永一 建設省土木研究所

第1部門主 久保慶三郎 東京大学

第2部門主 嶋 祐之 埼玉大学

第3部門主 福岡 正巳 建設省土木研究所

第4部門主 米谷 栄二 京都大学

幹事 尾仲 章 建設省道路局

伊藤 喜行 運輸省港湾技術研究所

③ 出版企画委員会

委員兼幹事 勝部 弘 運輸省港湾局

渋谷 祥夫 国鉄施設局

土屋 雷蔵 建設省道路局

④ 日本土木史編集委員会

主査委員 葛生 新一 建設省都市局

⑤ 耐震工学委員会

委員 有賀 世治 科学技術庁国立防災技術センター

⑥ 原子力土木技術委員会

委員 松尾 友矩 東京大学

⑦ コンクリート舗装標準示方書改訂小委員会

委員長 国分 正胤 東京大学

主査 河北 正治 大成道路KK

委員兼幹事 伊東 茂富 建設省土木研究所

委員 高橋国一郎 建設省道路局

多田 宏行 "

高見 博 "

野口 健 "

藤原 武 建設省関東地建

萩原 "

松野 三郎 建設省土木研究所

養玉田栄一 "

岩間 滋 日本道路公団浜松工

武田 昭彦 日本道路公団高速道

林 正道 北海道開発局土木試

験所

赤塚 雄三 運輸省港湾技術研究

武田 宏 建設省長岡工事事務

樋口 芳朗 国鉄鉄道技術研究所

村田 二郎 東京都立大学

川崎 寛司 日本セメントKK研

秋山 次雄 大成道路KK

井上 静三 日本道路KK

工藤 忠夫 世紀建設KK

植原 文弥 東京舗装工業KK

柳田 力 建設省土木研究所

渡辺 修自 建設省道路局

⑧ トンネル用鋼アーチ支保工の強度に関する研究委員会

委員 岡 行俊 京都大学

長 尚 信州大学

◎会務(総務・企画・経理)担当理事会(41.9.14)出席者:最上副会長,羽田専務理事,総務・成岡,広瀬,企画・米谷,耳野,経理・飯吉,内林,編集・堺の各担当理事。記事:羽田専務理事より担当理事会開催の趣旨について説明があり,最上副会長司会によりただちに議事に入る。議事:1)総会および学術講演会の開催地について。2)総会および学術講演会へ本部からの交付金について。3)特別会員の勧誘について。4)理事会の運営について。5)その他。

◎各種委員会

(1) 第2回出版企画委員会(41.8.15)出席者:春日屋委員長,堺副委員長,久保幹事長,ほか5名。議事:1)41年度新規出版物の進捗状況について。2)工事報告天草架橋の出版について。3)現在進行中または企画中の出版物報告。4)出版文化賞の制定について。5)41年度出版企画委員会幹事の追加について。6)委員会の運営方針および新刊の企画について。7)その他。

(2) 論文集部会長会(41.8.17)出席者:村上委員長,伊藤海外連絡委員会委員長,西村,池田部会長,ほか8名。議事:1)各部会報告。2)論文集第134号,第135号登載論文の決定。3)研究ノート(仮称)欄の設置について。4)海外連絡委員会の申入れについて。5)その他。

(3) 第3回土木図書館運営委員会(41.8.19)出席者:米元委員長,浅川幹事長,ほか8名。議事:1)各機関から発行されている雑誌・報告書等のチェック。2)本年度開催される国際会議のリスト作成。

(4) PC工法小委員会(MDC工法)(41.8.19)出席者:国分委員長,ほか17名。議事:中央高速道路八王子インターチェンジ・MDC工法工事現場見学。

(5) シールド工法小委員会打合せ(缶詰作業)(41.8.20~21)出席者:関係者8名。議事:「わが国シールド工法実施例集」原稿とりまとめのため作業を行なった。

(6) 会誌編集委員会第1回幹事会(41.8.22)出席者:増岡委員長,ほか3名。議事:1)会誌編集委員会の運営方法の討議。2)会誌投稿要項一部改訂の件。3)その他。

(7) 会誌編集委員会・座談会(41.8.22)出席者:増岡委員長,村上永一,比留間豊,栗原利米,浅井敏橋,国広哲男の各氏,ほか幹事4名。議事:座談会名=天草架橋を語る(仮題)を開催し会誌第51巻第10号登載することにした。

(8) 大学土木教育委員会第3回打合せ(41.8.22)出席者:林委員長,ほか10名。議事:1)アメリカ大学教育の実状。2)ドイツ大学制度の実状。3)イギリス Diploma Courseの実状。4)委員会資料のとりまとめ方について

(9) 水理委員会打合せ(41.8.22)出席者:関係者5名。議事:ISO TC/113(開水路流量測定)に関するDraftについての検討。

(10) 第5回工事の実態調査小委員会(41.8.22)出席者:住友委員長,ほか4名。議事:「トンネル掘削における余掘りの実態について」の原稿とりまとめ。

(11) 本州四国基礎に関する専門部会打合せ(41.8.23)出席者:関係者13名。議事:省略。

(12) 第6回トンネル用鋼アーチ支保工の強度に関する研究委員会(41.8.23)出席者:坂本委員長,ほか13名。議事:1)委員会資料の検討。2)トンネル工学に関するシンポジウムについて。3)トンネル用鋼アーチ支保工の強度に関する研究報告書(昭和40年度)案について。

(13) 土木製図基準改訂委員会(第9回)(41.8.23)出席者:菊池委員長,ほか12名。議事:土木学会制定,土木製図基準(I)の改訂について,幹事,委員作成の原案について各条審議を行なった。

(14) 無筋コンクリート標準示方書改訂小委員会主幹事会(41.8.24)出席者:国分委員長,ほか8名。議事:1)減水剤試験方法について。2)その他。

(15) 鉄筋コンクリート標準示方書改訂小委員会付着強度試験打合せ(41.8.24)出席者:国分委員長,ほか8名。議事:付着強度標準試験方法について。

(16) シールド工法小委員会打合せ(41.8.24)出席者:西嶋委員長,遠藤副委員長,ほか31名。議事:「わが国シ

ールド工法実施例・第1集」の原稿について検討。

(17) 吉田賞選考委員会(第1回)

(41.8.25) 出席者:岡部委員長, 国分副委員長, ほか15名。議事:1) 委員長, 副委員長の選出。2) 新任委員の紹介。3) 幹事の指名。4) 土木学会表彰制度の一部改正について。5) 吉田賞選考委員会内務について。6) 吉田賞募集および選考について。7) 吉田研究奨励金について。8) その他。

(18) 会誌編集委員会(41.8.26) 出席者:増岡委員長, 堺, 粟田の両理事, ほか18名。議事:1) 小委員会報告。2) 原稿投稿状況報告。3) 会誌編集方針討議。4) 投稿要項一部改訂について。5) 委員会運営について。6) その他。

(19) 本州四国耐震設計小委員会第38回幹事会(41.8.29) 出席者:岡本委員長, ほか19名。議事:省略

(20) 河北潟干拓河口工事研究委員会(41.8.29) 出席者:福田委員長, ほか17名。議事:1) 放水路河口部付近の局部洗掘に関する水理実験について。2) 河口部護岸堤の構造および工法について。3) 導流堤の設計波浪について。4) その他。

(21) 論文賞選考委員会(41.8.30) 出席者:本間委員長, 米谷主査, ほか8名。議事:1) 委員長の選出。2) 副委員長, 部門主査の選出。3) 幹事の指名。4) 表彰規程の一部改正について。5) 論文賞選考委員会内規について。6) 論文賞募集要項。7) 今後の日程。8) その他。

(22) シールド工法小委員会第8回幹事会(41.8.30) 出席者:西嶋委員長, 遠藤副委員長, ほか13名。議事:1) 「わが国シールド工法実施例・第1集」の原稿について。2) 今後作業予定について。

(23) 土木計画学研究委員会打合せ(41.8.30) 出席者:関係者4名。議事:1) 新発足する「土木計画学研究委員会」の委員・幹事候補者リストアップ。2) 今後の研究方針等について。3) その他。

(24) 本州四国基礎部耐震設計小委員会合同特別幹事会(41.8.31) 出席者:36名。議事:省略。

(25) 第4回文献調査委員会(41.8.31) 出席者:松本委員長, ほか11名。議事:1) 会誌51巻11号登載抄録について。2) 解説記事について。3) 雑誌および国際会議論文集担当の件。

(26) 本州四国耐震設計小委員会打合せ(41.8.31) 出席者:関係者11名。議事:省略。

(27) 鉄筋コンクリート標準示方書改訂小委員会付着強度試験打合せ(41.9.1)

出席者:国分委員長, ほか6名。議事:1) 両引き試験方法について。2) その他。

(28) PC工法小委員会(MDC工法)(41.9.2) 出席者:国分委員長, 河野主査, ほか16名。議事:1) 前回議事録の承認。2) プレストレストコンクリート設計施工指針(案)MDC工法設計編の逐条審議。3) その他。

(29) 土木製図基準改訂委員会(41.9.2) 出席者:菊池委員長, ほか10名。議事:土木製図基準改訂案の第2次原案について総論の各条審議を終えた。

(30) シールド工法小委員会打合せ(41.8.2~4) 出席者:西嶋委員長, 遠藤副委員長, ほか6名。議事:「わが国シールド工法実施例・第1条」原稿とりまとめ作業。

(31) 岩盤力学委員会第1分科会(第2回)(41.9.5) 出席者:駒井主査, ほか5名。議事:1) 国際岩盤力学会議について。2) 第4回シンポジウムについて。3) 岩盤の強度ならびに変形性の評価および設計への適用。

(32) 本州四国上部構造に関する専門部会幹事打合せ(41.9.6) 出席者:関係者11名。議事:省略。

(33) 岩盤力学委員会第3分科会(第2回)(41.9.6) 出席者:山本主査, ほか6名。議事:1) 運営委員会報告。2) 第4回シンポジウムについて。3) 文献調査について。4) 岩盤への応用を目的とした2,3の光弾性実験上の問題点。

(34) 岩盤力学委員会第4回運営委員会(41.9.6) 出席者:色部幹事長, ほか4名。議事:1) 議事録の確認。2) 各分科会報告。3) 第4回岩盤力学に関するシンポジウムについて。4) 土木技術者のための岩盤力学講習会について。5) 国際岩盤力学会議について。

(35) 出版企画委員会幹事会(41.9.6) 出席者:春日屋委員長, 堺副委員長, 久保幹事長, ほか2名。議事:1) 41年度第2回委員会出席者報告。2) 41年度新規出版物進捗状況報告。3) 工事報告天草架橋の出版委託について。4) 現在進行中または企画中の出版について。5) その他。

(36) 会誌編集小委員会(41.9.7) 出席者:増岡委員長, ほか6名。議事:1) 会誌51巻11号編集の件。2) 会誌52巻1号編集打合せの件。3) その他。

(37) 第6回工事実態調査委員会(41.9.7) 出席者:住友委員長, ほか5名。議事:「トンネル掘削における余掘りの実態について」の原稿とりまとめ。

(38) 会誌編集委員会書評小委員会

(41.9.7) 出席者:高橋小委員長, ほか4名。議事:1) 会誌51巻10号登載書評決定。2) ブックガイド欄について討議。3) その他。

(39) 田中賞選考委員会(第3回)(41.9.8) 出席者:福田委員長, 平井副委員長, ほか6名。議事:1) 議事録の確認。2) 理事会よりの意見について。3) 土木学会表彰規程改正案について。4) 田中賞選考委員会の構成および運営に関する内規について。5) 田中賞募集要項について。6) その他。

(40) 表彰委員会(第1回)(41.9.9) 出席者:篠原委員長, 最上副委員長, 渡辺(代)技術賞主査, 岡本功績賞主査, ほか10名。議事:1) 経過説明。2) 副委員長, 技術賞主査, 功績賞主査の選出。3) 表彰委員会内規について。4) 論文賞選考委員会報告。5) 吉田賞選考委員会報告。6) 田中賞選考委員会報告。7) 土木学会賞募集要項。8) 功績賞募集要項。9) 今後の日程。10) その他。

(41) 岩盤力学委員会第2分科会(第3回)(41.9.9) 出席者:高橋主査, ほか19名。議事:1) 運営委員会報告。2) 第4回シンポジウムについて。3) 第2分科会としての話題, テーマについて。4) 次回講演予定について。

(42) シールド工法小委員会打合せ(41.9.9) 出席者:遠藤副委員長, ほか3名。議事:「わが国シールド工法実施例・第1集」原稿(図面)の整理。

(43) 土木製図基準改訂委員会(41.9.10) 出席者:菊池委員長, ほか11名。議事:前回に引きつづいて土木製図基準改訂案の第2次原案について第2編コンクリートを逐条審議した。

(44) 本州四国耐震設計小委員会幹事打合せ(41.9.12) 出席者:関係者5名。議事:省略。

(45) 第5回原子力土木技術委員会(41.9.12) 出席者:左合委員長, ほか11名。議事:1) 前回議事録の確認。2) 委員の追加。3) 第4回理工学における同位元素研究発表会について。4) 第5回原子力総合シンポジウムについて。5) 発電所周辺の人口分布について。6) 海洋汚染の問題について。

(46) シールド工法小委員会第9回幹事会(41.9.13) 出席者:西嶋委員長, 遠藤副委員長, ほか9名。議事:1) 経過報告。2) 「わが国シールド工法実施例・第1集」の原稿について。

(47) 第2回海外連絡委員会(41.9.13) 出席者:伊藤委員長, ほか10名。

議事：1) 前回委員会報告。2) 委員会の今年度の方針。3) "Civil Eng. in Japan" 1967年版の編集について。

(48) 土木年鑑編集委員会 編集打合せ (41.9.13) 出席者：八十島委員長，片山副委員長，ほか2名。議事：1) 表紙の決定。2) 巻頭絵の最終選定。3) 組本の討議。4) その他。

(49) 第100回耐震工学委員会(41.9.16) 出席者：那須委員長，岡本副委員長，ほか10名。議事：1) 前回議事録の確認。2) 土木振動学便覧編集小委員会について。3) 本州四国耐震設計小委員会について。4) 日本地震工学シンポジウム(1966)について。5) 松代地震について。

(50) 会誌編集委員会 新年号編集打合せ (41.9.16) 出席者：関係者8名。議事：1) 会誌52巻1号登載特集について；①目次案作成，②各欄執筆内容内定，③執筆内容等討議，④今後の作業予定討議。2) その他。

(51) シールド工法小委員会打合せ (41.9.17) 出席者：西嶋委員長，遠藤副委員長，ほか7名。議事：「わが国シールド工法実施例・第1集」の図面校正作業。

(52) 本州四国上部構造に関する専門部会材料調査幹事会 (41.9.17) 出席者：関係者18名。議事：省略。

(53) フライアッシュ小委員会 (41.9.20) 出席者：国分委員長，ほか22名。議事：1) 委員長挨拶。2) 研究結果報告について。3) 今後の委員会運営について。4) 会計報告について。5) その他。

(54) 本州四国耐震設計小委員会第39回幹事会 (41.9.21) 出席者：関係者23名。議事：省略。

(55) 日本土木史編集委員会 (41.9.21) 出席者：青木委員長，佐藤副委員長，ほか18名。議事：1) 経過報告。2) 執筆方針または姿勢について。3) 日本土木史の編成について；①全体の構成，②目次順序，③各部門割当てページについて。4) 日本土木史編集委員会の構成について；①主査委員の役割の確認，②執筆委員の選考と役割。5) 総括幹事の選考と役割について。6) 今後の作業の進め方について；①本委員会の運営，②分科会の開催，③関連部門の連絡打合わせ会の開催，④編集作業の予定。7) 出版経費について。8) 執筆要綱(案)について。9) その他。

(56) トンネル工学委員会主査幹事会 (41.9.21) 出席者：加納幹事長，坂本，住友の各主査，ほか7名。議事：1) 第3回トンネル工学に関するシンポジウムに

ついて。2) トンネル工学委員会内規について。3) その他。

◎その他

(1) 第3回水工学夏期研修会 (41.8.1~6・8~13)

場 所：土木図書館講堂

参加者：A. ダム・河川コース 110名

B. 港湾・海岸コース 68名

研修会の大略

講義各コース 10題宛

演習各コース 3題宛

テキスト各コース 500部宛作成

(2) 日本地震工学シンポジウム(1966)運営委員会幹事会 (41.7.18, 日本建築学会会議室) 出席者：関係者6名。議事：1) プログラムの編成。2) 司会者の内定。3) 参加募集について。

(3) 支部幹事長会議 (41.8.20, 土木図書館3号室) 出席者：(北海道)林，(関東)堺，(中部)杉山，(関西)伊藤，(中国・四国)鈴紀，(西部)代小坪，最上副会長，羽田専務理事。議事：1) 特別会員の増強対策について。2) 通常総会および年次学術講演会の実施担当支部について。

(4) 日本地震工学シンポジウム(1966)幹事会 (41.8.22, 日本建築学会会議室) 出席者：関係者5名。議事：1) 経過報告。2) 原稿提出状況について。

(5) 昭和41年度夏期講習会 (41.8.25~26)

場 所：杉並公会堂

出席者：602名

テーマ：土木工学における振動と耐震の諸問題

演 題：12題

(6) 日本地震工学シンポジウム(1966)運営委員会 (41.9.22, 日本建築学会会議室) 出席者：武藤委員長，ほか19名。議事：1) プロシードイングス作成状況について。2) 参加募集について。3) 外人参加者の取扱いについて。4) 招待者について。5) 会場準備について。

支 部 だ よ り

◎関西支部

(1) 第2回見学会 (南大阪地区土木工事見学会, 41.8.10)

見学先：1. 北港鋼管防波堤，2. 堺埋立造成地，3. 泉北ニュータウン造成

参加者：69名

参加費：200円

(2) 第4回幹事会 (41.8.22, 片山鉄

工所第一会議室) 出席者：小西支部長，伊藤幹事長，ほか幹事12名。

(3) 騒音振動委員会委員をつぎのとおり追加委嘱した。

委員：岩津 潤 (大阪市立大学教授)

(4) 地盤凍結工法に関する研究会

(41.9.6, 大阪科学技術センター)

主催：土木学会関西支部，協賛：土質工学会関西支部・日本建築学会近畿支部

題目と講師

- ① 地盤凍結工法概論
京都大学教授 工博 村山 勇郎
- ② 土中の伝熱現象および冷凍機械設備
精研冷機KK 理博 高志 勲
- ③ 液体窒素による地盤凍結工法
KK藤田組技術研究所 鎌田 正孝
- ④ 凍結土の土質工学的性質
大阪市立大学教授 工博 三瀬 貞
- ⑤ 地下鉄工事における地盤凍結工法
大阪市交通局 道田 淳一

参加者：174名 参加費：無料

(5) 第5回幹事会 (41.9.19, 土木学会関西支部会議室) 出席者：小西支部長，伊藤幹事長，ほか12名。

(6) 第4回騒音振動委員会 (41.9.20, 阪神高速道路公団2階会議室) 出席者：庄司委員長，畑中幹事長，ほか18名。

(7) 騒音振動委員会委員追加委嘱
花田完五 神戸市衛生局公害対策課主幹
吉村 恒 国鉄山陽新幹線工事局次長

◎中国四国支部

(1) 第1回講習会 (41.8.24)

場所：広島市紙屋町 広島銀行大会議場
演題・講師：

- ① 軟弱地盤の設計施工(安定と沈下，盛土などの対策工)について
広島大学教授 網干 寿夫
- ② 軟弱地盤の建築構造物基礎の設計
広島大学教授 松浦 誠
- ③ 土木構造物における杭基礎
首都高速道路公団 玉野 治光

参加人員：320名

◎西部支部

(1) 昭和41年度夏季講習会および見学会

夏季講習会 (41.8.19)

場所：九重，ハイランドホテル

開会の挨拶

土木学会西部支部長 七田 茂

- ① 歓迎の辞および県下の土木事業について
大分県土木部長 富所 克巳
- ② 行列による応力解析入門
宮崎大学教授 彦坂 良次
- ③ 加重分割法に対するアーチダムの設計
熊本大学助教授 三池 亮次
- ④ ネットワーク手法の動向とその実務
福岡大学助教授 吉田 信夫
- ⑤ 波浪推定法について
九州大学教授 井島 武士

- ⑥ 防波堤の設計について
運輸省小倉調査設計事務所建設専門官 井野川伊曾二
- ⑦ 第2 関門連絡道路について
建設省北九州国道工事事務所副所長 大橋 昭光
- ⑧ 天草コンクリート橋の施工について(スライド使用)

- 日本道路公団
天草架橋工事事務所長 栗原 利栄
- ⑨ 北九州線増における八幡架道橋新設工事(映画)
国鉄下関工務局線増課長 西村 常明

参加者: 175 名
見学会 (41.8.20)

場所: 別府観光港および 大分国体競技場
行程: 宿舎から貸切バスにて、横断道路起点、別府観光港見 学後大分国体競技場見学、大分駅前 12.00 頃解散
参加者: 135 名

**編集
後記**

今月は、国土開発計画に関する報告および新技術に基づく工事報告といったものが主となり、巻頭論説には建設省の秀島敏彦氏より地域計画の課題を頂いた。

土木学会誌の編集方針として増岡委員長から平生いわれていることであるが、会員の構成分布を明確にし常々会員の心を心として、より愛される、よく読まれる会誌とすることをモットーとしているわけである。

土木技術者として国土計画は本来の使命であり、また常々会員各位の念頭を離れないもの、しかも、その実現には困難がともなうものであろう。

従来国土計画はどちらかといえば、あまりに政治的にきめられてきた嫌いがあるのではなかろうか。本四連絡橋の計画決定に当っては、土木学会に調査が依頼され、土木工学的に決定されるということで真に喜ばしい傾向である。科学技術を基礎とし、工学の上に立った総合的な開発計画でなくては、バランスの取れた発展というものは考えられない。最近各方面で問題とされている公害対策も国土計画を取扱ってきたわれわれ土木技術者が早くより研究もし計画に組入れようとしてきた所なので

あって、都市計画等の命題の一であろうが、実際にはプランがそのまま実現されないため生じたものが多いのではなかろうか。これは社会意識というか、一般の民度が向上しなければ支持されないと投げかけてきたものであるが、今やこういった点からもわが国は戦後ではなく、憲法に謳われる文化的生活を享受する権利を考える余裕ができたわけであろう。今後ますます土木技術者の発言の持つ価値が高く評価されることとなろう。

ところで 12 月、1 月号は恒例の特集号があり原稿登載余裕が少ないので、今月にできるだけ多く載せたいとすることで編集会議の議論はいずれをおくるかといった点に集中する。同一分野に偏向しない、長い目で見て均衡を保つ、投稿の経過日数等々……。また読者にアピールするようにと標題の是非等会議も朝のうち 9 時 45 分から 12 時過ぎまで議論百出し、時間のたつのも忘れるほどである。

報文のテーマ別分類表、会員分布等の資料を参考にしつつ、公平な機関誌としての役割も果たしたいという編集委員会の方針についてはご理解願えるものと思う。

(町田富士夫・記)

水理公式集頒布

— 昭和 38 年増補改訂版 —

水理公式集の初版が発行されたのは昭和 17 年です。それから 2 回の改訂が行なわれましたが、昭和 38 年に刊行された本書は、現在世界中で使用されている代表的な公式をすべてとり入れ、第 1 編 河川、第 2 編 発電水力、第 3 編 上下水道、第 4 編 港湾および海岸の 4 つ大項目に分け、それぞれを 7~11 の中項目を設け詳細に解説した世界でも珍しいユニークな公式集ですので参考書としてぜひご利用下さい。

体 裁: A 5 判 603 ページ
定 価: 1400 円
会員特価: 1100 円
送 料: 150 円

口絵写真・ニュース・豆知識・読者の窓原稿募集

土木学会編集委員会では標記の原稿を募集しております。会誌は会員の皆さんと一緒につくるものです。下記要項をご参照の上ふるってご寄稿下さい。

登載区分	ページ制限	内 容
口絵写真		キャビネ版以上の土木学会誌の巻頭を飾るにふさわしい、各種、土木関係の写真をお送りいただきたい。また写真には、簡単な説明文(約 400 字)を添付して下さい。なお、不採用のときはお返し致します。
ニュース	0.3	全国各所で実施されている各種工事などの完成、着工、計画決定などの新鮮なニュースを載せる欄で、できるだけ写真、図などを添付して下さい。締切りは毎月 10 日着の分を翌月登載とします。なお、登載にあたっては、とく名とします。
豆知識	0.5	土木技術に直接関係するもの、またはこれくらい知っておきたいというものを簡単にまとめられたものを載せるページです。
読者の窓	0.5	会員が何か不審に思っていること、知りたいこと、全員相互の連絡の場として利用するなど、全員に広く利用していただくページで、質問の解答にはその道の権威が当たります。